令和６年度第２回三条市教育事務点検評価委員会会議録

１　開会宣言　　令和６年７月 30 日（火）　午前８時 58 分

２　場　　所　　三条市役所栄庁舎 201 会議室

３　出 席 者　　雲尾委員長、星野委員、安達委員

４　説明のための出席者

髙橋教育長、平岡教育部長、野水教育総務課長、小林子育て支援課長、
相田学校教育課長、森田教育センター長、佐藤教育総務課長補佐、
井上教育総務課庶務係長

５　傍 聴 人　　なし

６　会議次第

１ 開会

２ 議事

(1)　令和５年度教育に関する事務の事後評価見え消し修正版について

(2)　令和５年度教育に関する事務の点検及び評価報告書（案）について

３ その他

４ 閉会

７　会議の経過及び結果

２ 議事

(1)　令和５年度教育に関する事務の事後評価見え消し修正版について

・本日の会議の進め方について、野水教育総務課長（説明）

・学校教育課所管分について、森田教育センター長、相田学校教育課長（資料により説明）

（雲尾委員長）

ありがとうございました。では、学校教育課所管分につきまして御意見、御質問等お願いいたします。

まず、１―（１）、これにつきましていかがでございましょうか。

これで、「前期課程生」を「前期課程含む」になったんですけども、全体を通してなんですが、正確に言うと義務教育学校は前期課程なんですよね。単に前期課程と言うと、中等教育学校の場合も前期課程、後期課程という表記があるので、三条市には中等教育学校ないので、ある意味誤解がないといえばないんですけども、正確を期すならば、例えば評価Ｂのところの文章の中の「小・中学校とも」の後に括弧して義務教育学校含むとかいうことも必要になってくるんですよね。これを、でも全部のシートでやるとややこしいからというのもあって、何かどこかに最初に断れるといいんでしょうね、きっと。このシート

の場合だと断りにくいですけど、文章のほうだと、一番最初に小学校、小学生には義務教育学校前期課程を含むとか、中学校には義務教育学校後期課程を含むとか、何か最初にそういった断りをして、あとはもう全部小中学校で通していったほうが文章的にはいいと思うんですよね。そういった形で、シートの書き方もちょっと難しいところありますけど、正確性を期して、こちらの報告書のほうでは最初に断っていただくほうがいいかなと思います。

１―（１）はよろしいですか。ありがとうございます。

では、１―（２）でございます。２ページの部分、ここはどうでしょうか。

評価のところに新しく文章が加わったんですけども、「社会参画の意識の割合は、小・中学生ともに目標値を大きく上回った」は分かるんですけども、その後の「Ｒ１からＲ４までの平均値を踏まえた上で今後の推移を捉えていく必要がある」って、ここの趣旨がよく分からないんですけども、これは何を言いたいんですか。

（森田教育センター長）

実は令和５年度の数値は小学校が 70、中学校は 60 と高かったのですが、実際Ｒ１からＲ４の平均値はそこに記載のとおり、小学校は 52.4、中学校は 45.7 でありまして、実は、その目標値のほう、Ｒ５、Ｒ６、Ｒ７の目標値を実はこの平均値に合わせて、もう少しスモールステップで上げていたのですが、令和５年度のもう値が高く出ているので、逆に逆転現象が起きるのはということで目標値を高く設定し直したのですが、評価のその部分を削除し忘れてしまいました。ここで「目標値を大きく上回った」でやめさせていただければと思うのですが。

（雲尾委員長）

分かりました。

そのほうがいいと思います。ちょっとこの書いてある趣旨が分からなかったのと、あとＲ２、３、４は実質コロナ禍であるので、逆にそれは地域との活動もむしろ減っていて、そこは評価下がるのはある意味当たり前なんですよね。だから、ここのところで策定時のＲ４が 50.9、41.1 と、４年間の平均値よりもさらに低くなっているのは、当然そうなるだろうなということで、それを置いた上で高く設定していったのは当然だと思うんです。だから、高くしたのはよくて、だから逆に前の４年間を踏まえる必要があるのかといったときに、無視してもいいんじゃないかなということで。だから、この文章はなくてよかったと思うので。

（森田教育センター長）

ありがとうございます。Ｒ元年も実はあまり高くなかったのですが、今御指摘いただいたとおりにさせていただければと思います。ありがとうございます。

（雲尾委員長）

では、評価のところ、「大きく上回った」というところで文章を切って、あとは加えた部分も削除するということでお願いします。ほかはよろしいですか。

では、１―（３）につきましていかがでしょうか。実施回数が加わったということと成果指標ですね。よろしいですか。

２―（１）でございます。これにつきましていかがでしょうか。

成果指標と目標値の成果指標の説明が、ここだけ語尾が「割合」で終わっているんですよね。ほかのところは、ここまでは「割合を評価」とか「偏差値を評価」とか来ているんですけども、微妙に、後のほうで、ここも「割合を評価」になりますかね、統一するとすれば。

（相田学校教育課長）

そのようにさせていただきたいと思います。

（雲尾委員長）

じゃ、４ページ一番下、成果指標の説明のところをほかに合わせて「割合を評価」にするということですが、ほかはよろしいでしょうか。

（星野委員）

細かいんですけども、コドモという表記が基本方針のほうでは漢字平仮名、ほかはみんな漢字なんですが、統一したほうがよいかなと。

（雲尾委員長）

施策の基本方針の中は「全ての子どもが」で平仮名になっていて、今後の方向性のあたりは全部漢字になっていると、そういったようなことで。

（相田学校教育課長）

平仮名表記でいきたいと思います。

（雲尾委員長）

では、２―（１）はよろしいですか。

では、２―（２）でございます。５ページ、いじめ、不登校対策の充実につきましてはいかがでしょうか。よろしいですか。

３―（１）、これにつきまして、教職員の支援体制強化につきましてはいかがでしょうか。

これ、ちょっと悩んでいるのは、一番下の成果指標の説明の中の前半部分が「教職員が本来の役割に注力できているかを測るため」ってあるんですけど、どうなんですかね。残業が少ないと本来の役割に注力できている、残業が多いと本来の役割に注力できていないという、そういう見方が果たして成り立つのかなというのがちょっと疑問なんですけど

ね。どうしますかね。

（安達委員）

役割という、職務ですか。

（雲尾委員長）

職務ですよね。残業しているのは、ずっとべたっとしているわけじゃないし。

（相田学校教育課長）

前半部分を全てカットして、長時間労働の状況を評価だけになるのかなと思います。

（雲尾委員長）

それならいいですね。分かりました。カットしてもらって。ありがとうございます。

では、学校教育課所管分につきましてはよろしいですか。

・子育て支援課の所管分について、小林子育て支援課長（資料により説明）

（雲尾委員長）

では、ありがとうございました。４―（１）から、９ページをまず御覧ください。ここにつきましてはいかがでしょうか。

（星野委員）

２点お願いいたします。

１点目は、修正していただいた文言のところに「「ユニバーサルデザイン」を意識せず」とあるんですが、「意識せず」というふうに書かれると、ややもすると無視してというか、意識にも上らずにというふうな状況を思い浮かべてしまいかねないかなと思いますので、保育者の方々はそんなことをしないと思いますので、ここを少し軟らかくというか、十分な意識化が図られていない中でとか、あるいは意識する間もなくとか、そんな言葉に換えたらどうかなと思います。

２点目は、今後の方向性のところの最後の行ですが、前にも申し上げたかと思うんですが、「また」というところは、「また」は接続詞だと思いますので、副詞じゃなくて接続詞だと思いますので、読点が要るのかなと思います。

以上です。

（小林子育て支援課長）

まず、１点目の「保育者は、「ユニバーサルデザイン」を意識せず」がちょっと厳しいような言い方ではないかということでしたので、例えば意識することなくとか、軟らかい表現に修正を検討させていただきたいと思います。

２点目の「また」の後の読点については、記載のほうを入れさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

（雲尾委員長）

そのほかはよろしいでしょうか。

では、４―（２）、10 ページのほうをお願いいたします。

評価の（３）、保育所児童保育要録等について、３つ挙げたわけですが、これ、ほかだと順番全部幼稚園、保育所という形になっているんですけど、ここだと保育所、幼稚園、認定こども園の順番になっているんですけど、これはどういう順番がいいですか。

（小林子育て支援課長）

全てこれまでは幼稚園、保育園、認定こども園というような順番にほぼ記載をさせていただいておりましたので、記載の順番につきましてはちょっとこちらでまた検討させていただければと思います。

（雲尾委員長）

そのほかよろしいですか。

（星野委員）

１点お願いいたします。

令和５年度中の実施した取組のところの最後の文言、一定検討していただいたようなんですが、「共通理解の基に」というところをちょっとこだわってすみません。私も文科省の新学習指導要領の総則を見て、共通理解のモトにというときのモトってどういう字を使っているかなと思って、ちょっと検索しましたら、やはり「共通理解の」というときには下という字が使われておりました。恐らくこの基盤の基というのは、意図はすごく分かるんですが、もしそれを使われるというのであれば、「共通理解を」、「を」のほうがいいのかなと私は思いました。

以上です。

（小林子育て支援課長）

私も、下の字を使うところはやはり上下関係であったりですとか、法規とかに基づいたというようなものに下という漢字を使うということであったと認識をしているところでありますが、今星野委員御指摘のような形で、「共通理解の基」というところが分かりづらいということであれば、保育者が共通理解を基にとかいう形で、表現についてはもう一度ちょっと検討させていただけたらと思います。

（雲尾委員長）

ほかはよろしいですか。

では、４―（３）、11 ページのほうはいかがでございましょうか。よろしいですか。ありがとうございました。

(2)　令和５年度教育に関する事務の点検及び評価報告書（案）について

・野水教育総務課長（資料により説明）

（雲尾委員長）

ただいまの説明につきまして御質問、御意見等ございましたらお願いいたします。

（安達委員）

先ほど委員長がおっしゃられた前期課程、後期課程をこの最初に持っていったほうがよいかと思うんですけども、いかがでしょうか。

（野水教育総務課長）

ありがとうございます。先ほど委員長のほうから御指摘をいただきましたこの報告書の中で用いる言葉の前提理解として、三条市においては小学校については義務教育前期課程を含む、中学校については義務教育の教育課程の後期課程を含むということで最初にこの目次の下、全体評価の開始の前辺りになろうかと思いますけども、御覧をいただく際に初めにその注釈を踏まえて内容を見ていただけるような形でお願いをしたいと思います。ありがとうございます。

（雲尾委員長）

ほかにいかがでしょうか。

さっきのにも共通する話ですけど、さっき本編にすぐ入ったので、言えなかったんですけど、目次の「主要な施策に対する評価等について」のところで評価Ａ、Ｂ、Ｃがあって、Ａは「成果に達したもの」、Ｃが「達しなかったもの」なんですけど、Ｂだけ「目標どおり」で終わっているので、これそろえるとすると、ほぼ目標どおりのものですかね。

そういった形で、あといかがでしょうか。中を見ていただいて。

（星野委員）

まず、細かい表記のところも含めて、目次のところのⅡの主な施策に対する評価等についてのところ、上のほうの項目と担当がゴシックなんですが、評価、ページはゴシックにしなくていいでしょうかというのが１点。

そして、全部ずっと言っていいですか。

（雲尾委員長）

それは、まずいいですか。

（野水教育総務課長）

ここについては、特に評価について大事な表の中で占めるお示しした要素になりますので、ここも併せてゴシック体にさせていただきたいと思います。

（星野委員）

今私申し上げたのは評価、ページという文字だけということです。

(野水教育総務課長)

表題の部分ということで理解させていただきました。

(星野委員)

続けて、４ページのところの、すみません、令和５年度における評価のところのＲ１からＲ４までって、このＲ１が半角になっているのかな。

それから、同じく３の青帯のところの（３）はいいんですが、その後が明朝になっているので、ここもゴシックでしょうか。「部活動の段階的な地域移行」のところが明朝体になっているので、ゴシックかなと思います。

それから、同じようなのが７ページのところもそうでしょうか。教職員の支援体制強化というところ。

以上です。

(雲尾委員長)

あと、５ページの上から４行目、令和５年度における評価、これ２段落目、３段落目が１字下がりになっていないので、下げていただいて、こうして文章にすると、やっぱりきちんとしたほうがいいのは、「開始した。」で括弧して実施回数になっていますけど、句点を打ってしまうと文章は終わるので、この実施回数が前の文章に入らなくなるんですよね。だから、「開始した」の後の句点を取って、「(実施回数」で、「陸上競技 10 回)」で、その後に「。」という形ですよね。次の吹奏楽のほうも、「醸成を図ることができた」の後の「。」を「44 回)」の後に持っていくという形で移動していただくほうが文章的には正しいかなと思います。

そのほか見ていただいて、目につくところありましたら言っていただければいいかと思いますが。

９ページの今後の方向性のところで、令和６年度の改修等計画の中で、１マス空けていったらこうなっちゃうんでしょうけど、「電気設備…２校」の後に「・」があって、外壁になるので、これ「・」を、改行しちゃって、次の段に持っていったほうがきれいですかね。

(野水教育総務課長)

はい。

(雲尾委員長)

これは、機械設備のとこで改行が入っている必要も、これはないんですかね。

(野水教育総務課長)

さようでございます。

(雲尾委員長)

つなげていいですよね、そこは。

(野水教育総務課長)

はい。

(雲尾委員長)

ただ、１行目の最後に１個だけ「・」があるのは変なので、それは改行して持っていってもらって、あとはまたつなげてもらってという感じでお願いします。次の行入って、収まらないですから、多分また「屋上、外壁」だけ下の行、３行目になるんですかね。そんな収まり方になると思いますけど、お願いいたします。

(安達委員)

機械設備１校、電気設備、機械設備１校になっているんですが、これは別々のあれなんでしょうか。

(野水教育総務課長)

機械設備と電気設備両方を改修するものと電気設備だけ行うものに分けてカウントさせていただきました。

(雲尾委員長)

子育て支援課の担当分は、全部（１）から（２）といったようなことが入っているんですけれども、例えば13ページに最初に出てくるんですが、13ページの令和５年度における評価Ｂの後、（１）のところ、これ２段落目があるので、そうするとこの２段落目はやっぱり１字下がっていないとと思うんです。そうすると、逆に１段落目を１字下げないといけないなということになって、ということは全部のところで（１）の後に文字が出てきて、（１）、（２）、（３）の後、これ全部、実は１文字ずつ空けないといけないのかなというふうに思われますので、４の（１）の最初からそういった形で全修正、スペースを入れていただけるようにお願いできますか。

そのほかいかがでございましょうか。

(安達委員)

ちょっと細かいようなんですけども、最初のほうの２ページなんですけど、任期が２年、私の場合１年なんですけど、この辺は前任者の名前も入れなくても大丈夫なんでしょうか。

(野水教育総務課長)

この評価報告書をまとめるに当たりまして、この委員会の御審議に実際御参加をいただいた委員さんのお名前を記載をさせていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

(星野委員)

15 ページ以降なんですが、５点お願いいたします。

まず最初に、また細かくてすみません、15 ページの、これもまた書体のことなんですが、ずっと見ていくと、最初の令和５年第６回臨時会、その下の第７回、第８回とありますが、ほかに準じるのであれば、ここはゴシックになるかなと、この丸印のところは。同じく一番最初の「教育委員会の会議」というところも含めてですが。

逆に、15 ページの下段の２行、報告のところ、第１号、第２号のところ、これは今度は明朝でよいのかなと思っています。これが２点目です。

３点目は、16 ページの第 12 回定例会のところ、令和５年の「年」がないかなと思います。

４点目は、19 ページの５番、教育委員の出席の一番最後の黒ポチのところに小中一貫、ここ「教育」があるのではないかなと思うんですが、小中一貫教育全国シェアミーティングという名称じゃないかなと思うんですが、いかがでしょうか。

最後は、これはもうそういう文言なのかもしれませんが、18 ページの議第 14 号のところ、「三条市中学校の部活動の」とあるんですが、これもちろん義務教育学校の教育課程を含めての言い方ということなんでしょうか。これは質問です。

以上です。

(雲尾委員長)

字体の調整等はしていただくのと、小中一貫教育については確認いただくということと、議の第 14 号についても議案がこのままということですね、これ。

(野水教育総務課長)

はい。議案の表記に基本的にそのまま載せておりますので、再度確認いたしますが、議案としては第 14 号はこのような名称で提案させていただきました。

(森田教育センター長)

今御指摘いただきました 18 ページ一番下の議第 14 号でありますが、三条市中学校の部活動の地域クラブ活動への移行に関する基本方針というのが正しい名称で、その文面の中に義務教育学校後期課程を含むというようなものを説明を入れておりますので、お願いいたします。

(雲尾委員長)

そのほかいかがでございましょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございました。では、そのように進めていっていただけるようよろしくお願いいたします。

(相田学校教育課長)

議事の（１）に戻ってしまって大変恐縮なんですが、見え消し修正版の４ページを御覧いただきたいと思います。最後の実績値、目標値等が整数値になっているのですが、ほか

の項目を見ますと、100％以外全て小数第１位まで出ています。この２―（１）についても小数第１位までの数字でここに掲載したいと考えますが、もしよろしければ、そのようにお願いしたいと思います。

（雲尾委員長）

ということで「.0」を入れるのはいいんでしょうが、「.0」なのか、実績値、策定値が四捨五入でどうなっているかというところについては、じゃ御確認いただいて、入れていただくということでお願いいたします。

（星野委員）

戻って、今の事後評価のところの７ページと８ページ、教育総務課さんのところなんですが、これ質問ではないんですが、評価が全てＢになっておりますが、この評価の指標を見ますと、評価Ａというのが上回る成果に達したものということで、この総務課さんの事業についてはＡになることはあり得ないのかなと、それがちょっと今素朴な疑問なので、すみません。どういうふうになるとＡになり得るのかなというところをちょっと教えていただきたい。

（野水教育総務課長）

ここについては、今星野委員御指摘のところ、私どもも特に施設整備、設備整備の面におきます指標の持ち方等については少し工夫が今後必要かなというふうに考えております。と申しますのも、いわゆる整備そのものとして必要な量の計画値としては当然持ち合わせた中で毎年度の予算要求をし、議会の御承認を得て、頂戴した予算の中で執行してまいる形になるわけでございますけども、そういった予算が伴うというところがある反面、全体計画に対して、その予算を使って、どこまで必要な整備が達成できたのかという視点からの評価もやはり必要なのかなということで、今まさしく星野委員から御指摘いただいた、現状のこの指標の立て方ですと、予算がついたものについて確実に執行すれば、それは直ちにＢ、逆に言うと、そこは最低限やらなければいけないことをやったにすぎないという見方もできるわけでございますので、ここが当初設定した目標以上の成果を上げるということは、逆に言うと、予定していた以上の整備が進んで、より子供たちの学びの環境が整えられたというところも当然目指さなければいけない部分になりますので、ここは今後、指標の持ち方、考え方として少し工夫が必要かなと思っていますので、現状のこの立て方としては、御指摘のとおり、100％以上はいかないというのがございます。

（平岡教育部長）

今ほどの教育総務課長の説明について、少し補足させていただきます。

私どもの、Ｂというのは当たり前の、申し上げたとおり、当たり前のことを予定どおり、当たり前にやって、Ｂという評価でございます。その中でのＡということでありますけれ

ども、こうした学校整備事業、改修事業等については、年度当初にしっかり今年度この項目について、この工事に当たって予算をつけ、予定していくという計画を持つわけです。それを全うして、Ｂになるわけなんですが、往々にして、例えば国の補正予算がついたとか、そういうことが過去何度もあるんです。そうすると、予定していた事業実績よりも相当数事業量をやることがあります。そういうことを踏まえて、そういう事態に至ったら、しっかり全うできればＡと。全体としてはそうした改修、整備が予想以上に、予定以上に進むわけですから、そうした場合についてはＡという判断でありますので、よろしくお願いします。

（安達委員）

各学校言えると思うんですけども、随時、ここが壊れた、これが使えなくなったという場合、私ども井栗小学校も２点ほど今抱えているんですけども、それがもう使えなくなっても、やっぱり子供たちは使いたがる。その中でけがをした場合というのも考えられるんで、今井栗小学校では、先回もお話させてもらってきたんですけども、鉄棒が２年ぐらい前から使用禁止になっていると。その撤去が７年度か８年度にしか回ってこないと、そういうのに関して、随時でもって予算を取って、撤去するということは可能なのか、不可能なのか。

（野水教育総務課長）

御指摘の件でございます。確かに安達委員おっしゃいましたように、現状、点検をし、その使用が危ないと思われる遊具については使用を止める措置を講じております。井栗小学校を含めて、市内に幾つかございます。まずは危険除去ということでは撤去が優先されるわけですが、その撤去に係る費用についても年次計画という形の中で予算取りをして、順次撤去し、またその次にいわゆる更新として新しいものを入れるというようなサイクルで進めているところでございます。ただ、危険度、緊急度の変動が、年が経過するに従って変動があった場合には当然それを加味した対応を取らせていただきますが、例えば台風であるとか、そういった災害によりまして突発的に発生したものの除去対応については、御指摘のとおり、例えば補正予算なりを組んでの随時の対応ということも取らせていただいた実績は当然ございますので、そういった場面においては対応させていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

（安達委員）

危険ですから、使わないでくださいと言ってから撤去までの時間がちょっと長く感じるんです。現に今も案件も抱えているんですけども、一応危険ですよと貼り紙しても、やっぱり小学生低学年は遊びたいから、使ってしまうということがあるんで、やっぱりそういうのが、ある程度予算を含めた中で、予算取りも一番大変なんでしょうけども、その辺の

敏速な対応が望まれるかなと思います。

（野水教育総務課長）

その点については引き続き、まずは予算の確保と計画的な執行になりますし、それぞれの学校の現状の的確な把握、これが基本になってまいりますので、引き続き十分意を用いてまいりたいと思います。

（安達委員）

分かりました。

以上です。

---

3 その他

・今後の流れについて、野水教育総務課長（説明）

---

4 閉会宣言　午前９時 54 分